

ネットワーク化による女性農業者の活動支援

■ 若手女性農業者、中讃農業女子ネットワーク ■

(中讃農業改良普及センター 小亀英子、○村尾由佳)

●対象の概要

中讃地域の女性農業者は基幹的農業従事者の約42%を占め、地域農業の振興や6次産業化の展開に重要な役割を担っている。

女性特有の視点と能力を発揮した新たな農業経営の展開ができるように、新規に就農した女性農業者とさらなる経営発展に向け、農業経営に積極的に参画している意欲ある女性農業者を対象とする。

●課題を取り上げた理由

県では、平成28年度から「次代の農業をリードするアグリレディ確保・育成事業」に取り組み、女性農業者への支援を重点的に進めているところである。

また、近年、全国的に若手女性農業者のネットワークが誕生し、活発に活動していることから、中讃地域にもネットワーク化を望む女性農業者が多く、その活動が女性農業者の能力発揮につながると考え、平成29年度からネットワーク化に主眼を置いた若手女性農業者の支援を推進することとした。

●普及活動の経過

1 対象者の掘り起し

平成29年度は普及センター職員からの聞き取りをもとに対象者をリストアップするとともに、研修に参加した対象者から、周囲の女性農業者を紹介してもらうことで、働きかける対象を増やしていった。

平成30年度には認定農業者と認定新規就農者、さらに、農業経営改善計画書の農業労働力の欄と青年等就農計画認定申請書の農業経営の構成の欄に記載されている50歳未満かつ農業従事日数が150日以上を抽出し、働きかけの対象に加えた。

2 研修会・現地研修の開催

対象者の経営品目が様々であるため、研修会の

課題設定の際にはアンケート調査を実施したり、対象者とコミュニケーションを図ることで、共通課題を探り出すように努めた。

表-1 研修会・現地研修の開催の内容

年月日	内容
平成29年 8月1日	研修「仕事も家庭もハッピーに！今日からできる脳と体の使い方」 ビジネスブレインコーチ 山本カオル氏
11月1日	・現地研修①「6次産業化で目指しているもの」 かなたまキッチン 店長 金江ちひろ氏 ・現地研修②「女性が活躍できる経営とは」 広野牧場 代表取締役 広野豊氏 ・交流会 東讃地域農ガールプロジェクト
12月6日	・講演①「大山牧場の目指すところ」 有限会社大山牧場 代表取締役 大山育江氏 ・講演②「レストランの厨房から」 フレンチレストラン ポワ・エ・デュボン 代表取締役 木場巳雄氏 ・アグリレディ交流セミナー 助言者 木場巳雄氏 大山育江氏
平成30年 6月26日	・講演「経営管理に関する知識あれこれ」 税理士法人共同経営センター 原ゆきこ氏 ・活動紹介 「中讃農業女子ネットワークの活動について」 中讃農業女子ネットワーク 会長 岩瀬美和氏
8月7日	・研修「心の安らぎを得る時間管理術」 ビジネスブレインコーチ 山本カオル氏
10月23日	・現地研修①農産物直売所「さいさいぎて屋」 統括店長 木原嘉文氏 ・現地研修②農産物直売所、カフェ「彩葉サイコー」 統括店長 芥川和豊氏 ・活動紹介「今治農業女子」の活動について 今治農業女子 代表 曾我部亜裕美氏 ・交流会 今治農業女子、愛媛大学社会共創学部



研修会の様子

3 ネットワーク化への意識の醸成

対象者同士はお互いの事を知らなかったり、顔見知り程度の関係であったため、研修の中で交流を図り、互いを知ることができるような内容を企画した。

また、研修の中では他地域で活躍している女性農業者グループを視察し、その活動の様子を知ることによってネットワーク化への意識の醸成を図った。



女性農業者グループとの交流

4 設立及び活動の支援

研修を重ねるうち、ネットワーク設立について普及センターに相談があり、活動の方向性や規約等について検討を進めた。

設立後に多くの方にネットワークを覚えてもらいやすいよう、さらには会員同士の結束を強めるためにロゴマークを作成した。

また、新規会員の募集を目的にロゴマークを利用したリーフレットやTシャツを作成するとともに、かがわ農業フェアへの出展などを通じ、ネットワークをPRし、それを支援した。



かがわ農業フェアでの出展

●普及活動の成果

1 「中讃農業女子ネットワーク」の設立

研修で対象者同士の関係が深まるにつれ、「このメンバーで活動がしたい」という意識が生まれ、ネットワーク化への合意がなされた6名が、平成30年4月に「中讃農業女子ネットワーク（通称：ぼやっとガールズ）」を設立した。

会員は中讃地域に点在しており、地縁を基盤とせず、経営品目も統一しない女性農業者同士の新たなつながりが誕生した。

その後、さらに新規会員が加入し、11名の会員が活動している。

2 女性農業者のPR

中讃地域で初の若手女性農業者グループということで、新聞等の取材を受ける機会が多く、農業を職業として選択する女性の認知度向上につながった。

また、自らの活動をフェイスブックに投稿し、情報発信したことで、女性農業者のPRになるとともに、農業関係者以外のつながりもみられ、イベントでの出展を依頼されるなど活動の幅も増しつつある。

3 普及センター主催の研修会が活発化

研修における参加者同士の交流の中で、前向きに農業に取り組む仲間から刺激を受けたり、中讃農業女子ネットワークが中心となって参加の声掛けがされたことで、29年度よりも研修出席者が増加した。

また、希望する研修内容についても積極的に意見を出してくれるようになり、受け身ではなく、意欲的に研修に参加してくれるようになった。

●今後の普及活動の課題

ネットワーク設立後、会員同士の圃場見学やマルシェへの出展など模索しながら活動を行ってきた。今後、この活動が会員の経営管理能力の向上につながり、収益性の向上に結びつくよう支援していく必要がある。

一方で、ネットワーク活動に興味があり、参加したいものの家庭や経営状況で踏み出せない女性農業者もいる。そのため、ネットワークの加入に関係なく、同じ悩みや目標を持つ女性農業者同士が日頃抱えている農業への思いを語り合い、仕事の励みにつながるような交流の場が広がるように支援したい。